



安全データシート

ニッサンプルクリア

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2022/04/01 改訂日: 2023/07/28 バージョン:

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ニッサンプルクリア
製品コード : 1129417118001
整理番号 : kankyo5356-4

会社情報

日産化学株式会社 化学品事業部 ファインケミカル営業部
〒103-6119
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
電話番号 03-4463-8150 FAX 番号 03-4463-8138

販売者: 三笠産業株式会社
〒340-0043 埼玉県草加市草加5-6-10
tel (048)941-8215
fax (048)943-4897

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 発がん性 区分 1A
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示

(GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

危険有害性 (GHS JP) : 発がんのおそれ (H350)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (H372)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

保管 : 施錠して保管すること。(P405)

廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

ニッサンプールクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ケイソウ土（融剤焼成品）	75	-	-	-	68855-54-9
炭酸カルシウム	25	-	-	-	1317-65-3

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 情報なし

ニッサンプールクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- 接触回避 : 情報なし
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

ケイソウ土（融剤焼成品）（68855-54-9）	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度(産衛学会)	【粉塵許容濃度】（第1種粉塵）吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³
炭酸カルシウム（1317-65-3）	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度(産衛学会)	【粉塵許容濃度】（第3種粉塵）吸入性粉塵 2mg/m ³ 総粉塵 8mg/m ³

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
- 手の保護具 : 保護用手袋
- 眼及び／又は顔面の保護具 : 安全メガネ
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル



- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 固体
- 色 : 白色
- 臭い : 無臭
- 融点 : 融点：約 1400℃
- 凝固点 : 非該当
- 沸点 : 情報なし
- 可燃性 : 不燃性

ニッサンプルクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

爆発限界 (vol %)	: 非該当
引火点	: 非該当
自然発火点	: 非該当
分解温度	: 情報なし
pH	: 9.5
動粘性率	: 非該当
溶解度	: 難水溶性。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: オクタノール、水どちらにも殆ど不溶
蒸気圧	: 情報なし
相対密度	: 情報なし
密度	: 2300kg/m ³ (粉体嵩密度：300~350kg/m ³)
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
追加情報	: 吸湿性を示す

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 強アルカリ、フッ化水素酸。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない

ニッサンプルクリア	
pH	9.5

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

ニッサンプルクリア	
pH	9.5

呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 発がんのおそれ
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
誤えん有害性	: 分類できない

ニッサンプルクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

ニッサンプルクリア

動粘性率	非該当
------	-----

12. 環境影響情報

生態毒性

- 生態系 - 全般 : 本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
- 水生環境有害性 短期（急性） : 分類できない
- 水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

ニッサンプルクリア

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	オクタノール、水どちらにも殆ど不溶
--------------------------	-------------------

残留性・分解性

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性

生体蓄積性 情報なし

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) オクタノール、水どちらにも殆ど不溶

土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) オクタノール、水どちらにも殆ど不溶

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
- その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)

- 国連番号 (UN RTDG) : 非該当
- 正式品名 (UN RTDG) : 非該当
- 容器等級 (UN RTDG) : 非該当
- 輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

海上輸送 (IMDG)

- 国連番号 (IMDG) : 非該当
- 正式品名 (IMDG) : 非該当
- 容器等級 (IMDG) : 非該当

ニッサンパールクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

海洋汚染物質

非該当

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA) : 非該当

正式品名 (IATA) : 非該当

容器等級 (IATA) : 非該当

輸送危険物分類 (IATA) : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
結晶質シリカ (政令番号：165の2) (含有率：53~61%)
名称等を調査すべき危険物及び有害物 (法第57条の3)
安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質 (安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号)
- 外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項
- 粉じん障害防止規則 : 第2条別表第1掲げる作業に限る
- じん肺法 : 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
- 作業環境測定法 : 粉じん障害防止規則 第25条に該当する作業に限る

16. その他の情報

- その他の情報 : 当該製品は労働安全衛生法に基づくラベル表示及びSDS交付義務対象物質である「結晶質シリカ (0.1%以上)」を含む製品です。また、2023年4月1日より労働安全衛生規則等の一部が改正されることになり、同規則第577条の2第3項の規定において、珪藻土が、がん原性物質に指定されました。現在までの法改正に基づき、当該製品を取り扱う際の留意事項を以下に簡潔にお示しいたします。なお、以下の記載内容は弊社の見解であり、本文書に基づいて被ったあらゆる損害に関して弊社は一切責任を負うものではありません。
1. SDSの交付義務があります。
当該製品を取り扱う事業者は、卸売業者等を含めてSDSを相手方に交付する義務があります。(運送業者を除く)
 2. リスクアセスメントの実施義務があります。
当該製品を取り扱う事業者はリスクアセスメント実施義務があります。リスクアセスメントとは化学物質などによる危険性・有害性を特定し、その特定された危険性・有害性に基づくリスクを見積もることに加え、リスクの見積もり結果に基づいてリスク低減措置(リスクを減らす対策)の内容を検討する一連の流れを指します。リスクアセスメントの方法は様々で、厚生労働省やその他でリスクアセスメント支援ツールを作成し公開しております。どの手法でリスクを見積もるかについては、事業者にて判断する必要があります。

ニッサンプールクリア

改訂日：2023/07/28 バージョン：

3. リスクアセスメント結果に基づくばく露低減措置が求められます。

リスクアセスメント結果を踏まえ、労働者がリスクアセスメント対象物にばく露される程度を最小限度にすることが義務付けられます。適切な保護具の着用など、ばく露低減に向けた適切な手段を事業者自らが選択の上、実施します。その他、必要に応じて医師等が必要と認める項目の健康診断を行い、その結果に基づき必要な措置や、健康診断の記録を作成し、30年間保存することが義務付けられます。

4. リスクアセスメント結果等に関する記録の作成・保存や、労働者の意見聴取が義務付けられます。

リスクアセスメントの結果と、ばく露低減措置の内容等は、関係労働者に周知するとともに、記録を作成し、次のリスクアセスメント実施までの期間（ただし、最低3年間）保存することが義務付けられます。また、措置の内容と労働者のばく露の状況を、労働者の意見を聴く機会を設け、記録を作成し、30年間保存することが義務付けられます。

5. 作業記録の作成及びその記録の30年間保存が義務付けられます。

2023年4月1日より、当該製品を取り扱う業務に従事する労働者の作業記録を作成し、30年間保存する義務があります。作業記録の書式や必要事項に定めはありませんが、以下の事項は最低限記載することを推奨いたします。

①作業した年月日、②作業の概要、③作業の時間、④作業者の氏名、⑤作業で扱った製品重量

記載事項は作成時点で入手できた情報に基づいておりますが、その内容を保証するものではありません。また、新しい知見により改訂することがあります。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。